

Vol.24 SDGsと「タバコ規制枠組条約(FCTC)」



心と体にアドバイス



よもやま話

タバコ規制もSDGsです！

最近「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉が盛んに聞くようになりました。SDGsは2015年に国連総会で採択された、30年までに全ての国と地域が達成すべき一七の開発目標です。

これらは貧困や飢餓、教育、ジェンダー平等、水と衛生、エネルギー、経済成長と雇用、気候変動、海と陸の環境、街づくりなどの分野で設定され、さらにそれを具体化した一六九の小目標があります。

日本でも政府や自治体、企業、マスメディアなどがその理念の拡散や共有に熱心で、これに沿ったCSR（企業の社会的責任）として、多くの企業や法人が「SDGs宣言」を行っています。

SDGsのうち、健康にとってとりわけ重要なのは「目

標3 あらゆる年齢のすべて

の人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進すること」ですが、その中に別項として「3.a」が設定され、「すべての国々において、タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約の完全実施の取り組みを適宜強化する」とあります。

しかし、タバコ規制の必要性が強調されていることはあまり知られていないようです。この条約は世界保健機関（WHO）が、「タバコの消費と受動喫煙によってもたらされる健康・社会・環境・経済の破壊から、現在と未来の世代を守ることを目的に策定しました。現在一八〇カ国以上が批准し、日本でも05年に批准・発効している多

国の国際条約です。しかし、わが国ではまだ完全実施されておらず、早急な実施が望ま

れています。

タバコは世界で毎年八〇〇万人以上の命を奪っています。喫煙や受動喫煙に起因する疾病による人的資源の喪失、医療費の増大と非効率化、子供のタバコ誤飲、葉タバコ農家の緑タバコ病（職業性ニコチン中毒）などの問題点が指摘されています。また目標3のみならず、SDGsの開発目標のほとんど全てに悪影響を及ぼすことも明らかにされています。

2022年5月31日の「世界ノータバコデー」に際し、WHOはタバコ製品による環境負荷として、①紙巻きタバコのために伐採される木材六億本②タバコ製品の製造と消費で発生する二酸化炭素八四〇〇万ト③タバコ製品の製造のために使用される水二二〇億リットルとアナウンスしました。

そして「タバコが地球環境にもたらす有害影響は極めて大きく、すでに枯渇しつつある資源とエコシステムに負荷を加えている。タバコ製品の製造販売流通費と吸い殻などの廃棄物による環境負荷がさらに人々の健康を冒している」としています。



公益財団法人中国労働衛生協会 理事長

宮田 明

1974年岡山大学医学部卒。医学博士。公立学校共済組合中国中央病院血液内科部長・副院長、尾道市立市民病院院長などを経て2015年より現職。日本血液学会専門医指導医、日本禁煙学会認定専門医など。現在は健康診断、保健指導・健康教育、社会貢献事業などを行う公益財団法人の理事長。座右の銘は「待てば海路の日和あり」「降りやまない雨はない」。

定期健康診断・生活習慣病予防健診・人間ドック・特定健康診査・各種がん検診
地域初 **フレイル予防ドック** 始めました! あなたの会社の **健康経営** サポートします!



公益財団法人
中国労働衛生協会
福山市引野町5-14-2
☎084-941-8211
<https://churou-wp.sub.jp>

定年退職後の健康管理はどうしたらいいの?とお悩みの方

●健康診断のご案内 ●健康情報の発信 ●健康イベントのご案内

入会費無料 『げんきサポートクラブ』におまかせください!